



青い鳥



目次

- 1 …… 就任ごあいさつ
ひょうごけんしゃがいふくしじきょうだん
兵庫県社会福祉事業団 理事長
やまもとよしひこ
山本 嘉彦
- 2 …… 事務局だより／平成29年度当初予算
- 3 …… 平成28年度職員表彰(理事長賞)
 兵庫県障害者芸術・文化祭
- 4 …… 平成29年度事業計画
- 5～6 … 人の動き
- 7～8 … シリーズ「ペンリれい」
 施設だより／あがき



就任ごあいさつ

山本 嘉彦
 兵庫県社会福祉事業団 理事長

理事長に就任しました山本です。どうぞよろしくお願ひします。

「前向きに、明るく、逃げずに」と新規採用職員の方々にお願いしました。

私たちは、少し前を見て新しいことに挑戦することが苦手です。誰だって昨日のままの明日の方が安心ですよね。でも、人々のありようが変化している今、そんなことは許されません。

「ありったけの力で走り続けなければならぬよ。その場にとどまっていたるためには。」ルイス・キャロルの小説「鏡の国」

の「アリス」で赤の女王がアリスに語りかけた言葉です。

私たちは、現在私たちのサービスを利用してくださっている方々に、そして、将来利用してくださる方々に、少なくとも、今と同じくらいの満足をしていただけのサービスを、提供し続けるためには、不断の努力、新たな試みを重ねていく必要があります。

私たちの「めざす」ものは何でしょうか。まず、「安全と安心」。そのためには、安定した運営が基本です。その上に立って、将来に亘って人々の「安全と安心」の場を提供することです。

2つめは、人々の「自信と誇り」を守ることです。「あわじ荘」のめざす「あなたらしさの応援」です。

西播磨に住んでいた頃のことです。山の中のひとり暮らしのおばあさんに、関西福祉大学の学生が「おばあさんは、何でこんなところに住んでいるの」と聞いたそうです。そのときのおばあさんの答えは「ここ

が私のお城だからよ」だったと聞きました。人々の誇り高い暮らしを守る事が私たちのミッションだと思ひます。

3つめは、私たちの活動で「地域の元気」をつくることです。医療・福祉の人材が足りませんが、逆に見れば、私たちの活動は地域の雇用と活力を生んでいるのです。

夢のような福祉の国の話は、この国の話ではありません。幸せの「青い鳥」は、どこか遠くの国にあるのではなく、私たちの目の前の不完全な現実の中にしかありません。

そして、その現実の中からみんななで力を合わせて創っていくものだと思います。

ご一緒に、頑張りますよ。

事務局だより

評議員会・理事会概要

三月三十日(木)に第三十三回評議員会及び第一八一回理事会が開催されました。承認された議案等内容は次のとおりです。

第二十二回評議員会

- 一 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団定款の一部変更について
- 二 赤穂精華園授産寮整備にかかる事業費の変更について
- 三 基本財産の処分について
- 四 平成二十八年度補正予算について
- 五 積立資産にかかる対応について
- 六 平成二十九年度事業計画について
- 七 平成二十九年度積立資産の取崩しについて
- 八 平成二十九年度当初予算について
- 九 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団組織規則の一部を改正する規則の制定について
- 十 理事の選任について
- 十一 会長の選任について
- 十二 顧問の選任について
- 十三 施設長の任免について

報告事項

- (一) 社会福祉法人制度改革への対応について
- (二) 評議員の選任について
- (三) 平成二十九年度の理事会・評議員会について
- (四) 理事長専決事項について
- (五) 理事専決事項について
- (六) 整備事業について

第一八一回理事会

- 一 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団定款の一部変更について
- 二 赤穂精華園授産寮整備にかかる事業費の変更について
- 三 基本財産の処分について
- 四 平成二十八年度補正予算について
- 五 積立資産にかかる対応について
- 六 平成二十九年度事業計画について
- 七 平成二十九年度積立資産の取崩しについて
- 八 平成二十九年度当初予算について
- 九 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団組織規則の一部を改正する規則の制定について
- 十 理事の選任について
- 十一 会長の選任について
- 十二 顧問の選任について
- 十三 施設長の任免について

規則等改正の概要について

- 一 組織規則の一部を改正する規則
 - (一) 中央病院、西播磨病院に参事を追加
 - (二) 西播磨病院の内部組織の改編
- 二 決裁規則の一部を改正する規則
 - (一) 理事会決定事項(第四条関係)の内容を新たに制定する「理事会運営細則」に規定
 - (二) 理事長が専決できる契約金額の上限を五、〇〇〇万円から一億円に変更
 - (三) 不動産の取得・処分等について制限なく理事会決定事項であったものを契約ルールと同様に一億円以上を理事会決定事項、一億円以下を理事長専決に規定
 - (四) 継続的な契約に関する区分を設け、理事長専決に区分する規程の一部を改正する規程
 - (五) 会長、相談役及び顧問に関する規程の一部を改正する規程
 - (六) 会長等の身分は非常勤であったものを新たに常勤を追加
 - (七) 報酬の支給区分が月額であったものを、新たに月額を追加
 - (八) 職員給与と規則の一部を改正する規則
 - (九) 扶養手当の改正
 - (一) 子 六、五〇〇円
 - (二) 配偶者 一三、〇〇〇円
 - (三) 父母等 六、五〇〇円
 - (四) 九級職(三、五〇〇円)
 - (五) 医師職四級(支給なし)
 - (十) 平成三十二年三月三十一日までの経過措置を規程
 - (十一) 通勤手当の改正
 - (十二) 新幹線鉄道等利用に係る特別料金等の支給上限額(二〇、〇〇〇円)の廃止
 - (十三) 年齢給給料表及び職能給給料表(表)適用者(研究員除く)の初任給基準表の金額を二、五〇〇円引き上げ
 - (十四) 特別研究員の給与等に関する規則の一部を改正する規則
 - (一) 給料表の改正
 - (二) 三二七、〇〇〇円→三二八、〇〇〇円
 - (三) 三三三、〇〇〇円→三三四、〇〇〇円
 - (四) 三三九、〇〇〇円→三三九、〇〇〇円
 - (五) 三三九、〇〇〇円→三三九、〇〇〇円
 - (十五) 旅費規則の一部を改正する規則
 - (一) 特別急行料金の支給に際し、のぞみ号の使用は業務上特に必要がある場合のみとしていたものを、現行の運行状況を踏まえ、その旨の規定を削除
 - (二) 会計規則の一部を改正する規則
 - (三) 経理事務の範囲に「社会福祉充実計画に関する事項」を追加
 - (四) 「計算書類等」の「計算関係書類及び財産目録」への呼称の変更
 - (五) 決裁規則改正に伴う施設整備事業拠点区分の設置基準の変更(五千万円→一億円)及び「職員等海外研修事業拠点区分」の「人材確保・育成事業拠点区分」への呼称の変更
 - (六) 予算編成基準に「社会福祉充実計画」を追加
 - (七) 会計監査人の設置及び監査手続に関する規定を追加
 - (八) 意契約の上限金額の拡大及び業者見積徴収基準の明確化
 - (九) 社会福祉充実残額の計算及び社会福祉充実計画の作成にかかる規定を追加
 - (十) 総合リハビリテーションセンター管理規程の一部を改正する規程
 - (十一) 地域ケア・リハビリ支援センターの業務に「介護予防訪問サービス」を加える
 - (十二) 特別養護老人ホーム等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
 - (十三) ことぶき苑、洲本市五色健康福祉総合センターの事業に「介護訪問予防サービス」を追加
 - (十四) あわじ荘、丹寿荘、洲本市五色健康福祉総合センターの事業に「介護予防通所サービス」を追加
 - (十五) 障害児施設等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
 - (十六) 事業廃止により、出石精和園成人寮の自立訓練(生活訓練)を削除
 - (十七) 出石精和園成人寮 Rakuraku 事業所に生活介護事業を加える
 - (十八) 新たに生活介護事業を加える
 - (十九) 情報障害児短期治療施設清水が丘学園管理規程の一部を改正する規程
 - (二十) 題名中の「情報障害児短期治療施設」を法令に基づき、「児童心理治療施設」に改正
 - (二十一) 施設等の法令を法令に定める内容に改正

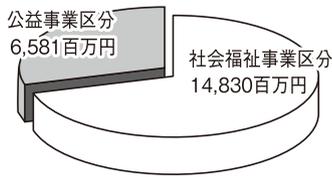
平成29年度当初予算

(単位:千円)

	勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	4,161,839	人件費支出	12,203,267
	老人福祉事業収入	111,074	事業費支出	3,729,267
	児童福祉事業収入	203,702	事務費支出	2,199,654
	障害福祉サービス等事業収入	5,346,177	就労支援事業支出	338,848
	生活保護事業収入	316,965	利用者負担軽減額	10,077
	医療事業収入	5,859,267	支払利息支出	9,064
	指定管理料収入	1,381,952	その他の支出	11,510
	受託事業等収入	390,911	流動資産評価損等による資金減少額	3,000
	経常経費補助金収入	599,797		
	経常経費寄附金収入	2,024		
	義肢装具製作等収入	3,802		
	自動車訓練収入	2,572		
	保育料収入	5,220		
	能開収入	685		
	保養所収入	141,345		
	参加費収入	33,814		
	過年度収入	30		
	共通経費収入	395,475		
	その他の収入	39,085		
	受取利息配当金収入	7,188		
就労支援事業収入	331,599			
	事業活動収入計	19,334,523	事業活動支出計	18,504,687
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	5,341	設備資金借入金元金償還支出	26,310
	固定資産売却収入	1,500	固定資産取得支出	794,578
			ファイナンスリース債務の返済支出	19,231
	施設整備等収入計	6,841	施設整備等支出計	840,119
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	358,879	長期貸付金支出	7,200
	事業区分間繰入金収入	188,585	積立資産支出	715,108
	拠点区分間繰入金収入	1,051,297	事業区分間繰入金支出	188,585
			拠点区分間繰入金支出	1,051,297
			その他の活動による支出	54,298
	その他の活動収入計	1,598,761	その他の活動支出計	2,016,488
	前期末支払資金残高	471,169	予備費支出	50,000
	収入計	21,411,294	支出計	21,411,294

平成29年度 当初予算内訳

- 社会福祉事業区分
- 公益事業区分



- 九 特別養護老人ホーム等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
- 十 障害児施設等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
- 十一 情報障害児短期治療施設清水が丘学園管理規程の一部を改正する規程
- 十二 ことぶき苑、洲本市五色健康福祉総合センターの事業に「介護訪問予防サービス」を追加
- 十三 あわじ荘、丹寿荘、洲本市五色健康福祉総合センターの事業に「介護予防通所サービス」を追加
- 十四 障害児施設等の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
- 十五 事業廃止により、出石精和園成人寮の自立訓練(生活訓練)を削除
- 十六 出石精和園成人寮 Rakuraku 事業所に生活介護事業を加える
- 十七 新たに生活介護事業を加える
- 十八 情報障害児短期治療施設清水が丘学園管理規程の一部を改正する規程
- 十九 題名中の「情報障害児短期治療施設」を法令に基づき、「児童心理治療施設」に改正
- 二十 施設等の法令を法令に定める内容に改正

平成28年度 職員表彰(理事長賞)被表彰者一覧

平成28年12月22日(木)に職員表彰(理事長賞)の授与式が行われました。受賞したのは、個人表彰2件、団体表彰7件の計9件です。被表彰者及び表彰内容は下記のとおりです。



【個人】 2件

	所 属	役 職 等	氏 名	功 績 内 容
1	まきこう 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	特別研究員	ほんだ ゆういちろう 本田 雄一朗	手術シミュレーション用骨盤モデルの製作を陳所長指導のもと、大産大と共同で開発。また今年度神戸で開催されたG7保健大臣会合に先立ち開催された「ひょうごKOBЕ医療健康フェア」に県代表として研究所が出席するに際し、出展担当リーダーとして県関係課や医療メーカーとの調整等優れたリーダーシップを発揮し、研究所の研究成果を世界に向けて発信した。
2	ごしきせいこうえん 五色精光園	園長	ふかたに としゆき 深谷 利之	平成28年度「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受賞。

【団体】 7件

	団 体 名	施 設 名	功 績 内 容
1	くとうみの里 (事務局経営企画部県立淡路 病院跡地施設開設準備室)	同左	特別養護老人ホーム「くとうみの里」開設までの約19ヶ月の間、事務局及び関係施設、地域などの協力を得ながら、円滑に開設に向け着実に準備を進め、無事に11月1日に開所することができた。
2	福祉用具展示ホール等 リニューアル検討チーム	まきこう 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所	27年度に展示ホールのリニューアルを行うにあたり、最新の介護ロボット等、福祉の現場に役立つ展示を展開するため、ワーキングチームを設置。現場のニーズを踏まえた活発かつ積極的な意見交換を行い、提言をまとめ、検討会議へ提出。結果、最新の介護ロボットを中心とした展示ホールのリニューアルが実現し、福祉用具・介護ロボットの普及促進に貢献した。
3	けんさ ほうしゃせんぶ 検査・放射線部	にしはりまきこう 西播磨総合 リハビリテーションセンター にしはりまきこう 西播磨病院	整備費用2億円を超えるSPECT導入は、認知症疾患医療センターの機能を有し神経難病患者を多く受け入れている西播磨病院にとって、長年の懸案事項であったが、他の県立病院での導入状況や複数メーカーの調査を行い、設置の必要性や機器の選定、施設の改修に係る詳細な資料を作成するとともに、この予算獲得に大きく貢献した。また、設置・改修に向けて関係業者との調整窓口となり、円滑な改修工事の進行に貢献した。
4	ごしきだこ ひびき 五色太鼓「響」	ごしきせいこうえん 五色精光園	平成22年度から、成人寮の生活介護プログラムの一環として練習を重ね、精光園祭等の行事で披露するうちに、洲本市社協や特別養護老人ホームの催しに出演依頼を受けるようになり、28年度は県の障害者芸術文化祭に出演した。中心メンバーは変則勤務の中、業務時間外に練習に参加し、利用者の指導等にあたっており、利用者の社会参加の促進に寄与している。
5	にんちしょうたいおがなつうしよかいごじまじしよ 認知症対応型通所介護事業所	あさひがおかそう 朝陽ヶ丘荘	町内の居宅介護事業所との連携を強化するとともに、外出活動、おやつ作りの回数を増やすなど日中活動の見直しによるサービスの質の向上に継続的に取り組んでいる。結果、9月末時点で、稼働率87.7%と前年比5.5%アップし、利用者ニーズに応えた事業運営を行っている。
6	にんちしょうたいおがなつうしよかいごじまじしよ 認知症対応型通所介護事業所	あわじ荘	平成19年7月に開所し、開所当初から手厚いサービスが好評で、利用者は年々増加し平成22年8月には定員12名に増員した。また、平成27年度は、利用率85.5%で黒字経営であり、通所事業としては良好な経営を維持している。更に今年度は利用率85.9%(9月現在)に上昇しており、更なる利用者確保のため、ホームページの随時更新や地域行事やイベントにも積極的に参加し、事業所のPRに継続して取り組んでいる。
7	デイサービスあすなろ	りつらんま 立雲の郷	地域への広報、ケアマネージャと連携を密にした契約者数の確保対策を進め、新規利用者の増加により、9月末時点で、昨年度比、29.6%増と稼働率を大幅に向上させた。

ハンバーグカレー ¥900
(サラダ付き)
ハンバーグがさらに
美味しくなりました!

moi moi
CURRY HOUSE

〒673-0534 兵庫県三木市緑が丘町本附2丁目3
TEL 0794-84-1014(カーナビ設定:0794-85-8791)

**キッチン
アケホール**

毎日、A・B 2種類のランチを提供しています。
利用者3名が一生命命に働いています。
皆さまのご来店をスタッフ一同、
心からお待ちしております。

総合リハビリテーションセンター管理棟(2F)
お問い合わせは「あけほの家」まで
TEL:078-927-2727(代表) FAX:078-925-9228

**第十二回
兵庫県障害者芸術・文化祭**

第十二回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」が、三月十一日(土)～十五日(水)に兵庫県立美術館で開催されました。当事業団からも障害児者施設の利用者様の作品を四〇点出展し、三木精愛園 小山幸子さんの「むし」が審査員特別賞を授賞しました。

その他にも、魅力的な作品が多数ありました。来年も皆さんからの応募をお待ちしております。

平成29年度事業計画

I 社会福祉法人制度改革への対応

社会福祉法人制度改革が進められるなかで、公益性の高い法人として社会的な要請に的確に対応していくため改革の趣旨に沿ったさまざまな取り組みを推進する。

- 1 経営組織のガバナンスの強化
- 2 事業運営の透明性の向上
- 3 財務規律の強化
- 4 地域における公益的な取組

II 事業計画

1 利用者本位のサービスの提供

- (1) 利用者本位で質の高いサービスの提供
 - ア 障害児者施設機能の充実
 - ① 障害福祉サービス制度改正への対応
 - ② 障害者の就労や地域生活を支援するための拠点機能の強化
 - ③ 高齢・重度化に対応した支援
 - ④ 被虐待児・発達障害・強度行動障害児者等への支援
 - ⑤ 発達障害・被虐待児などに関する専門機関への指導・助言
 - ⑥ こども発達支援センターの運営
 - ⑦ 精神障害者の支援技術の習得・実践
 - イ 高齢者施設機能の充実
 - 改① 高齢福祉サービス制度改正への対応
 - ② 個別ケアによる生活の質の向上、生きがいづくりの推進
 - ③ 地域医療との連携によるターミナルケア(看取り)の実践
 - ウ 利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供
 - ① 人権の擁護
 - ② サービス評価の計画的実施

2 地域で支え合う仕組みづくり

- (1) 地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供
 - ① 地域リハビリテーション支援体制の推進
 - 改② 居宅サービス事業等の実施
 - ③ 認知症対応型グループホーム、認知症対応型デイサービス事業の実施
 - 改④ グループホーム事業における地域生活支援の充実
 - ⑤ 地域生活支援事業等の実施
 - ⑥ 障害児者施設における相談支援事業の実施
 - ⑦ 地域包括支援センター等の運営
- (2) 地域の福祉人材の育成支援
 - ① 地域福祉人材の育成のための研修実施
 - ② 人材バンク(講師派遣制度)の推進
- (3) 地域に開かれた施設運営
 - 拡① 事業団における「公益活動推進指針」(仮称)の検討
 - ② 公開セミナー・福祉教育等の実施と地域交流行事等の開催
 - ③ 施設運営協議会機能の充実・強化
 - ④ 地域防災拠点体制の整備
 - ⑤ 日常生活支援総合事業への対応(再掲)
 - ⑥ 事業団広報の推進

3 医療と福祉の連携による事業推進

- (1) 医療・福祉の連携事業の実施
 - 拡① リハ医療の3次機能と高度・専門医療の推進
 - ② 高次脳機能障害の支援体制の確立
 - ③ 音楽療法士・園芸療法士等による地域の障害者・高齢者等への支援
 - ④ 認知症高齢者地域ケアの実践
 - ⑤ 認知症疾患医療センターの運営
 - ⑥ 体育館を活用した介護予防・健康づくり機能の強化
 - ⑦ セラピスト等専門職員と連携したサービスの提供
- (2) リハ医療・福祉に関する専門的情報の発信
 - 拡① 障害者スポーツの振興
 - ② 「産・学・官」や「医・工」連携の共同研究による製品化、実用化の推進
 - ③ 研究開発や研究成果を取り入れた研修・相談・展示機能等の充実
 - ④ 事業団実践・研究活動の活性化
- (3) 先進的な研究・実践
 - ① 子どもの睡眠障害治療プログラムの研究・実践及び臨床結果の情報発信
 - ② ロボットリハビリテーションセンターの運営
 - ③ 人工関節センターの運営(再掲)

4 人材育成と働きがいのある職場づくり

- (1) 人材の確保・育成
 - ア 職員確保対策
 - ① 医師確保対策の実施
 - ② 支援員・看護師等確保対策の実施
 - イ 自律型組織を担う人材の育成
 - 改① 組織性・専門性研修等の効果的実施
 - ② 資格取得の推進
 - ③ 認知症介護に係る専門人材の育成
 - ④ 専門職種連絡会の実施
 - ア 健全な組織運営
 - 改① 改正社会福祉法に基づく法人運営の推進
 - ② ガバナンスの推進

5 経営基盤の安定・強化

- (1) 事業推進体制等の強化と財務管理の徹底
 - ア 事業推進体制等の強化
 - 拡① 新経営10か年計画「第3期実施計画」の評価・検証及び新経営10か年計画の総括と更なる経営戦略の策定準備
 - 改② 事業推進体制の強化(再掲)
 - 改③ 事業目標管理(課題解決・目標達成のための取組み)の強化
 - イ 財務規律の強化
 - (2) 自主経営(事業団立)施設の運営
 - ア 事業推進基盤の整備
 - ① 計画的な施設の建替及び大規模改修の実施
 - 拡② 施設のメンテナンスサイクルの充実
 - イ 事業毎の運営内容の充実等
 - ① 障害児者施設等の施設入所機能の發揮及び日中活動の利用促進
 - 改② 特別養護老人ホーム等の機能の發揮及び居宅サービスの利用促進
 - ア 事業推進基盤の整備
 - ① 指定管理施設の運営と具施策の実践
 - 改② 病院経営計画に基づく病院運営
 - ① 県との協働による具施策の先導的役割の実践(指定管理の検証)

※改Ⅱ改善 新Ⅱ新規 拡Ⅱ拡充

人の動き

おつかれさまでした

○平成二十九年一月十三日付退職

○総合リハビリテーションセンター

中央病院看護部看護師・植田恭子

○平成二十九年一月三十一日付退職

○総合リハビリテーションセンター

福祉管理部地域支援課看護師・上山美世、同・雲井美穂佳、中央病院看護部看護師・片倉晴美

○平成二十九年二月二十八日付退職

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

支援課支援員・廣瀬徹

○平成二十九年三月三十一日付退職

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

支援課支援員・廣瀬徹

本朋子、同・水岡崇、同・吉廣みゆき、西播磨病院看護部看護師長・吉井恵美、同看護師・藤田絵理、同・堀江清美、同・前川知歩、同・森本恵梨華、西播磨病院検査科・放射線部主任・畑中めぐみ、西播磨病院薬剤師・中山未未

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

支援課支援員・廣瀬徹

○平成二十九年三月三十一日付退職

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

中央病院長、中央病院参事連携調整担当兼診療部泌尿器科部長・仙石淳(中央病院診療部長兼泌尿器科部長、中央病院診療部長兼リハビリテーション科部長、福祉管理部参事(地域リハビリテーション施設連携担当)、大串幹(中央病院診療部リハビリテーション科部長)、中央病院診療部神経小児科部長兼小児科部長、子どもの睡眠と発達医療センター部長、豊浦麻記子(医師職3級部長、資格・中央病院診療部神経小児科部長兼小児科部長、同整形外科部長、山本潤哉(医師職3級昇任)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士兼福祉管理部地域支援課理学療法士・相見真吾(福祉管理部地域支援課)、中央病院リハビリ療法部理学療法科主任・東祐一(自立生活訓練センター)、同・大門守雄(3級昇任)、同・田中美穂(3級昇任)、同・手塚勇輔(3級昇任)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士・宇都宮淳(福祉管理部地域支援課)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士・岡本真規子(3級昇任)、同作業療法士・石橋基大(2級昇格)、中央病院リハビリ療法部言語聴覚療法科室長補佐・菊川桂樹(5級昇任)、同主任・安友友紀子(3級昇任)、同・和田佳子(3級昇任)、中央病院看護部次長兼看護師長・福祉のまちづくり研究所・リハビリテーションセンター看護師長・福祉のまちづくり研究所・リハビリテーションセンター看護師長・金子恵(7級昇任、中央病院看護部看護師長)、中央病院看護部看護師長・松村弘美(福祉管理部課長看護担当)、兼能力開発部課長(看護担当)、自立生活訓練部課長(看護担当)、同・長野真香(6級昇任、同・池内雅子(6級昇任)、同・石黒麻衣子(6級昇任)、中央病院看護部看護師長補佐・阿部さやか(5級昇任)、同・上田恵美(5級昇任)、同・繁田美穂(5級昇任)、同・東慎二(4級昇任)、同・池田靖弘(4級昇任)、同・松本友紀(4級昇任)、同・池田靖弘(4級昇任)、同・水間菜花(3級昇任)、中央病院検査・放射線部技師長補佐・中戸順子(5級昇任)、中央病院薬剤部次長・出崎美穂子(7級昇任)、中央病院地域医療連携部・西播磨総合リハビリテーションセンター

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

支援課支援員・廣瀬徹

○平成二十九年三月三十一日付退職

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

新たな活躍ください

○平成二十九年四月二日付転任

○役員等

事業顧問・久保修一(会長)、事業団会長・福田好宏(理事長)、事業団理事兼総合リハビリテーションセンター所長・福祉のまちづくり研究所所長・ロボットリハビリテーションセンター所長・陳隆明(総合リハビリテーションセンター福祉のまちづくり研究所長兼ロボットリハビリテーションセンター所長・中央病院参事(リハビリ推進)総合リハビリテーション科部長)

○職員等

総務課主任管理栄養士・小西厚子

○職員等

支援課主任管理栄養士・小西厚子

○職員等

支援課主任管理栄養士・小西厚子

中央病院長、中央病院参事連携調整担当兼診療部泌尿器科部長・仙石淳(中央病院診療部長兼泌尿器科部長、中央病院診療部長兼リハビリテーション科部長、福祉管理部参事(地域リハビリテーション施設連携担当)、大串幹(中央病院診療部リハビリテーション科部長)、中央病院診療部神経小児科部長兼小児科部長、子どもの睡眠と発達医療センター部長、豊浦麻記子(医師職3級部長、資格・中央病院診療部神経小児科部長兼小児科部長、同整形外科部長、山本潤哉(医師職3級昇任)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士兼福祉管理部地域支援課理学療法士・相見真吾(福祉管理部地域支援課)、中央病院リハビリ療法部理学療法科主任・東祐一(自立生活訓練センター)、同・大門守雄(3級昇任)、同・田中美穂(3級昇任)、同・手塚勇輔(3級昇任)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士・宇都宮淳(福祉管理部地域支援課)、中央病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士・岡本真規子(3級昇任)、同作業療法士・石橋基大(2級昇格)、中央病院リハビリ療法部言語聴覚療法科室長補佐・菊川桂樹(5級昇任)、同主任・安友友紀子(3級昇任)、同・和田佳子(3級昇任)、中央病院看護部次長兼看護師長・福祉のまちづくり研究所・リハビリテーションセンター看護師長・福祉のまちづくり研究所・リハビリテーションセンター看護師長・金子恵(7級昇任、中央病院看護部看護師長)、中央病院看護部看護師長・松村弘美(福祉管理部課長看護担当)、兼能力開発部課長(看護担当)、自立生活訓練部課長(看護担当)、同・長野真香(6級昇任、同・池内雅子(6級昇任)、同・石黒麻衣子(6級昇任)、中央病院看護部看護師長補佐・阿部さやか(5級昇任)、同・上田恵美(5級昇任)、同・繁田美穂(5級昇任)、同・東慎二(4級昇任)、同・池田靖弘(4級昇任)、同・松本友紀(4級昇任)、同・池田靖弘(4級昇任)、同・水間菜花(3級昇任)、中央病院検査・放射線部技師長補佐・中戸順子(5級昇任)、中央病院薬剤部次長・出崎美穂子(7級昇任)、中央病院地域医療連携部・西播磨総合リハビリテーションセンター

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

支援課支援員・廣瀬徹

○平成二十九年三月三十一日付退職

○西播磨病院看護部看護師・片倉晴美

○西播磨病院看護部看護師・春名千穂美

○あわじ荘

総務課管理栄養士・公盛紗貴子

○丹寿荘

室主査・安井鈴華(4級昇任)、西播磨病院リハビリ療法部理学療法科室長補佐・沖西正圭(5級昇任)、同理学療法士・高田佳菜(2級昇格)、西播磨病院リハビリ療法部作業療法科主査・津田真由子(4級昇任)、同作業療法士・辻知世(2級昇格)、同・細田里穂(2級昇格)、西播磨病院リハビリ療法部言語聴覚療法科主査・春尾章代(4級昇任)、西播磨病院看護部看護師長・中田菓子(6級昇任)、同看護師長補佐・近藤由美(5級昇任)、同主任・水谷かおり(3級昇任)、西播磨病院検査・放射線部主任放射線技師・吉野慎吾(6級昇任)、総合リハビリテーションセンター、西播磨病院薬剤部主査・向井茂人(4級昇任)、同薬剤師・丸山優希(総合リハビリテーションセンター) 園長兼工場長・横山智也(8級昇任)、次長(調整担当)兼副工場長・作業第一課長・岸本敏(次長兼作業第二課長)、作業第二課長・本莊保義(総合リハビリテーションセンター)、総務課主事・奥村勇祐(2級昇格)、支援課主査・溝口智寿磨(4級昇任)、支援課主任・日置健治(3級昇任)、支援課支援員・古部歩美(総合リハビリテーションセンター)

▼出石精和園

次長兼成人支援第二課長・山名正行(丹寿荘)、児童支援課長・上崎尚久(6級昇任)、課長(地域支援担当)・真田一如(6級昇任)、総務課主事・藤原常頼(2級昇格)、たじま荘、総務課管理栄養士・尾崎美和子(2級昇格)、児童支援課長補佐・中嶋芳樹(5級昇任)、児童支援課支援員・矢野浩樹(2級昇格)、成人支援第二課主査・稲葉いつ子(4級昇任)、成人支援第二課主任・田中美佳(たじま荘)、同・大滝敏雄(3級昇任)、成人支援第二課支援員・土生田祐子(2級昇格)、課長(地域支援担当)付支援員・守山昌代(2級昇格)、ひまわりの森支援員・山本容子(総務課主事)

▼五色精光園

総務課長補佐・米倉敬司(洲本市五色健康福祉総合センター)、児童課長補佐・大場正博(総務課長補佐)、児童支援員・井村幸代(2級昇格)、成人支援課長補佐・森本千香(総合リハビリテーションセンター)、同・山戸久世(同)、成人支援課主任・森川康人(3級昇任)、成人支援課支援員・橋本豊(2級昇格)、同・花田佑介(2級昇格)、同・若林かなん(2級昇格)、課長(かがやき事業所担当)付課長補佐・清水文章(5級昇任)、課長(あゆみの部屋・コスモス事業所担当)付主任・西浦孝二郎(3級昇任)

▼赤穂精華園

次長兼総務課長・宮脇康司(総合リハビリテーションセンター)、成人支援第二課長・茶谷健介(6級昇任)、成人支援第二課長・末廣博子(6級昇任)、総合リハビリテーションセンター)、総務課主事・前田祐輔(事務局)、成人支援第一課長補佐・岡上優子(5級昇任)、同・名倉幾子(清水が丘学園)、成人支援第一課主任・島谷武志(3級昇任)、成人支援第一課支援員・荒木弘子(2級昇格)、同・吉岡将(2級昇格)、成

人支援第二課主査・大町文規(清水が丘学園)、同・山口裕之(総合リハビリテーションセンター)、成人支援第二課支援員・山本裕之(小野起生園)、同・吉川幸志(2級昇格)、授産支援課支援員・金元賢太(2級昇格)

▼丹南精明園

総務課主事・道本慎也(課長(地域支援担当)付支援員)、支援課長補佐・藤本直人(出石精和園)、支援課主査・荒川祝子(4級昇任)、同・渡辺和郎(4級昇任)、支援課支援員・岩本崇史(2級昇格)、同・田中郁子(2級昇格)、同・辰巳裕彦(2級昇格)

▼三木精愛園

総務課主任・福山澄子(3級昇任、清水が丘学園)、支援課長補佐・南智先(総合リハビリテーションセンター)、支援課支援員・川田敬子(清水が丘学園)、同・寅屋淳平(総合リハビリテーションセンター)、同・森岡真衣(五色精光園)、同・村尾英享(2級昇格) 総務課主事・河上美穂(三木精愛園)、治療課主査・堂飯量一(4級昇任)、赤穂精華園、治療課主任・末廣誠(3級昇任)、治療課支援員・荒木晋亮(2級昇格)、こども発達支援センター看護師OB)、同主任・三木伸子(3級昇任)

▼明陽ヶ丘荘

所長・竹内康文(小野起生園長兼小野福祉工場長)、支援課長・遠藤建一(6級昇任、あわじ荘)、総務課主事・田淵亮(2級昇格、事務局)、支援課長補佐・木立真由美(総合リハビリテーションセンター)、支援課主査・岩佐良幸(あわじ荘)、同・谷口良政(事務局)、支援課主任・井上麻紀子(3級昇任)、同・西浦章子(3級昇任)、同・山口貴哉(3級昇任)、支援課支援員・玉木誠(赤穂精華園)、同・高本一希(2級昇格)、同・中野清美(2級昇格)、同・廣畑須寿子(2級昇格)

▼たじま荘・ことぶき苑

所長・上田あゆみ(8級昇任、出石精和園)、次長兼ことぶき苑所長・松井勝(7級昇任、あわじ荘)、たじま荘支援課長・奥佐智代(ことぶき苑)、同支援課課長(看護担当)・西田恭子(6級昇任)、ことぶき苑支援課長・森田明男(6級昇任)、たじま荘総務課主任・佐藤和宏(3級昇任)、同総務課主事・西村佳貴(赤穂精華園)、同支援課長補佐・濱本美江(西村佳貴)、同支援課支援員・加藤雅弘(2級昇格、朝陽ヶ丘荘)、ことぶき苑支援課主任・川見寛之(たじま荘)

▼あわじ荘

所長・田中ひとみ(8級昇任、洲本市五色健康福祉総合センター)、支援課長・中原克子(6級昇任)、支援課長補佐・辻田健史(朝陽ヶ丘荘)、支援課主査・椛本健(朝陽ヶ丘荘)、同・林浩一(4級昇任)、支援課主任・永井和英(総合リハビリテーションセンター)、同・上田章文(3級昇任)、同・森崎博之(3級昇任)、支援課支援員・馬部洋一(五色精光園)

▼丹寿荘

参事(施設運営担当)・植木直子(8級昇任、たじま荘)、次長兼支援課長・酒井伸義(事務局)、総務課長・

絹巻忠(西播磨総合リハビリテーションセンター)、支援課長補佐・岡崎智美(5級昇任)、同・永田克己(5級昇任)、同・若林崇(5級昇任)、支援課主査・大塚真弓(4級昇任)、支援課主任・川上義和(3級昇任)、支援課支援員・塩見峻皓(2級昇格)、同・長嶺嘉穂(2級昇格)、丹南精明園、同・尾崎悠亮(総合リハビリテーションセンター)、同・藤本直樹(小野起生園)

▼くにのみ里

支援課長・堂垣春水(洲本市五色健康福祉総合センター)、総務課主査・岩井友香(4級昇任)、支援課主査・吉田和代(4級昇任)、支援課支援員・来田学(2級昇格)、同・村上弘(2級昇格)、課長(地域支援担当)付課長補佐・小谷康文(5級昇任)

▼洲本市五色健康福祉総合センター

センター長兼五色・サルビアホール所長・こしき地域包括支援センター所長・辻敏弘(センター長兼五色・サルビアホール課長)、こしき地域包括支援センター課長・生田修一(6級昇任、あわじ荘)、五色・サルビアホール課長(地域支援担当)・梶原香子(6級昇任)、五色・サルビアホール総務課主任・西條忠親(2級昇任、あわじ荘)、同支援課支援員・卯野新市郎(2級昇格)、同・楠希代美(2級昇格)、同・福井義祐(2級昇格)、同・三原裕士(2級昇格)、同・盛砂忠英(2級昇格)、同・藪田敬二(2級昇格)

▼立雲の郷

課長補佐・椛本哲次(総合リハビリテーションセンター) 主任・岡田正彦(3級昇任)

▼浜坂温泉保養荘

主任・岡田正彦(3級昇任)

※ひとくちお願い※

○平成二十九年四月一日付採用

▼役員
 事業局理事長・山本嘉彦
 ▼事務局
 総務部長・田路勝彦、総務部人事管理課主事・田路真紀、経営企画部財務課主事・安田いまり
 ▼総合リハビリテーションセンター
 福祉管理部課長(施設経理担当)付主事・三村利代、同保育室支援員・阪口美保、同地域支援課看護師・山本美紀子、同福祉第一課支援員・山田歩、同福祉第二課支援員・森秀治、自立生活訓練部自立生活訓練課支援員・濱田麻希、同療育指導課支援員・長坂昌忠、同体育指導課体育指導員・坂本春菜、福祉のまちづくり研究所主査・本田雄一郎、中央病院院長・橋本靖、中央病院診療部整形外科医長・井口貴雄、同・高島良典、中央病院子ども睡眠と発達医療センター長兼診療部小児科部長・菊池清、中央病院診療部整形外科医師・片岡君成、中央病院リハビリ療法部理学療法科主査・植村美季、同・倉尾佳代、同・上銘峻太、中央病院リハビリ療法部作業療法科作業療法士・今井健人、中央病院看護部看護師・井口佐恵、同・伊藤遥、同・角野彩、同・岸本智代、同・久保田まみ、

同・栗崎美帆、同・小林裕美、同・坂本陽子、同・嶋尾朋子、同・瀬川未紗姫、同・竹中かおり、同・玉山瑞貴、同・月本沙織、同・辻本美南、同・鳥澤末来、同・永井未紗来、同・濱脇光生、同・藤原章太、同・堀中未来、同・松江綾心、同・松村理恵、同・宮本菜見子、同・山本あゆみ、同・山本舜、中央病院検査・放射線部診療放射線技師・横山雅貴、中央病院検査・放射線部・安田真由美、中央病院地域医療連携部地域医療連携室室長補佐・近都鈴江

▼西播磨総合リハビリテーションセンター

次長兼西播磨病院管理局長・田村賢一、西播磨病院診療部神経内科学部長兼栄養指導室長・水田英二、西播磨病院リハビリ療法部理学療法科理学療法士・塩見幸菜、西播磨病院リハビリ療法部作業療法科作業療法士・神原沙耶、同・小泉芳輝、同・野口祐里、同・山田健太、西播磨病院看護部看護師・池田忠輔、同・井原美和、同・小久保祥子、同・福田真由、同・保田あゆみ、同・山崎友梨香、同・山本周平、西播磨病院検査・放射線部臨床検査技師・吉田幸祐

▼小野起生園

総務課看護師・森本慶子、支援課支援員・寺西正樹

▼出石精和園

児童支援課支援員・和田芽久美、成人支援第二課支援員・上田桃実

▼五色精光園

児童支援課支援員・松下倫子、成人支援課支援員・花立敏行

▼赤穂精華園

児童支援課支援員・岡村勇希、同・二ノ丸翔子、同・山本将志、成人支援第一課支援員・塩見暁生、成人支援第二課支援員・岸本裕之、同・永井友浩

▼丹南精明園

支援課支援員・古角智咲、同・杉原裕司

▼三木精愛園

支援課支援員・内海美保、同・齋藤雅史

▼清水が丘学園

治療課支援員・川中千星、同・松浦潤弥

▼朝陽ヶ丘荘

支援課支援員・平岡達哉

▼たじま荘・ことぶき苑

たじま荘支援課支援員・赤松梨子、同・田端惇

▼あわじ荘

総務課主事・清田員司、総務課管理栄養士・藤堂奈美、支援課支援員・赤峯史子、同・菱垣元稀

ペンりれい

「野球と私」

あわじ荘支援課 支援員 上田 理史



私は小学生時代から野球が大好きで、元の野球部に所属していました。夏の暑い時も、冬の寒い時もラニングやダッシュ、素振り、バッティング、シートノック等、厳しい練習に耐えながらほとんど休まずに続けてきました。しかし、何年も所属しながら試合に出場したのはわずか数試合で、後はランナーコートでの声出しや、ベンチを温めていました。改めて、自分には野球の才能がないのかなあと思いました。

何度も辞めようと思うこともありましたが、当時、学校の図書館で読んでいた「はだしのゲン」のストーリーに出てくる、広島市民からの寄付金(たる募金)で設立した市民球団「広島カープ」に心惹かれ、カープファンとなりました。中でもカープ一筋「走攻守」三拍子揃った緒方孝市監督の大ファンです。緒方監督の現役時代のプレーに魅了され、自分自身の励みとなっていました。チームは低迷期が続き、ケガによる戦線離脱や他球団への移籍等、ファンにとって辛い時期もありましたが、昨年、二十五年ぶりにセ・リーグ優勝を果たし、たくさんの夢と感動を与えてもらった一年となりました。今年こそは三十三年ぶりの日本一を果たしてほしいと思います。

我が家には私以上に熱心な「カープ男子」がいます。遊びに行く時はいつも赤色のカープ帽子を被り、自転車に乗っています。淡路島なので、赤色の帽子は良く目立ちます(笑)。好きな選手は「走・攻・守」三拍子揃った菊池涼介選手みたいです。「地元」の少年野球部に所属していますが、練習や試合を見に行く度に日々成長しているのを実感しています。私も子どもたちの成長に負けないよう、支援員として専門性を高めることや社会人として親としても、成長できていることが実感できるように自己研鑽したいです。

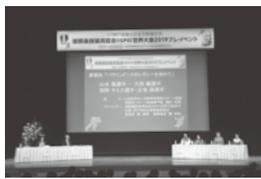
次回は、くにうみの里支援課
支援員 嶋根 啓城さんです。

施設だより

G7神戸保健大臣会合開催記念 国際義肢装具協会(ISSAO) 世界大会2019プレイベント開催

福祉のまちづくり研究所

二月二十七日(月)に神戸ポートピアホールで開催されたこのイベントは、四五〇名の参加者を集め、WHO神戸センター所長アレックス・ロス氏による講演やパブリックピクアスリートによるトークショー、また、ロビーでは出展企業十三社による「介護ロボット・高機能自立支援機器特別展示」を実施し、参加者と出展者との活発な意見交換が行われました。



五色音楽センター

五色精光園

二月十五日(水)、五色文化ホールにおいて、ソプラノ歌手とピアノ演奏者のお二人をお迎えして、ふれあい出前コンサートを開催しました。利用者様に、本物の芸術文化に触れ心豊かに過ごしていただく機会を提供として実施しています。ご家族の参加もあり、馴染みのある唱歌や本格的なクラシックの他、利用者様からのリクエスト曲にもお応えいただき、楽しいひとときを送ることができました。



第五回赤穂精華園セミナー

赤穂精華園

二月三日(金)、赤穂市総合福祉会館にて「共生」をテーマにした「第五回赤穂精華園セミナー」を開催しました。大阪教育大学名誉教授竹田契一氏による自閉症について、分かり易くご講演いただき、参加者一四六名も障害を正しく理解する大切さを学びました。今後も、地域とともに歩むセミナーとして続けていきたいと思います。



第8回丹寿荘高齢者ケアセミナー

丹寿荘

二月二十五日(土)、八回目となる丹寿荘高齢者ケアセミナーを開催しました。今回は、講師として兵庫県社会福祉士会高齢者・障害者虐待対応委員会委員長の伊東圭一氏をお招きし、「いつまでも自分らしく安心して地域で暮らす」と題して、具体の事例を交えた分かりやすい話をさせていただきました。当日は一般市民をはじめ、福祉関係者、行政関係者等、約六〇名の方にご参加いただき、大いに好評を博しました。



平成二十九年度研修のご案内

こども発達支援センター

昨年度最後の研修会は、「コグトレの体験」困っている子どもを支援する認知トレーニング」をテーマにご講演いただき、楽しいワークに取り組みました。今年度も支援者のスキルアップのための研修を開催しますので、ぜひご参加ください。最初の研修会は五月三十一日(水)です。ホームページ(<http://www.hwc.or.jp/kodomoha/fatsu/>)で詳細をご覧いただけます。



平成二十九年度三木精愛園セミナー

三木精愛園

三月九日(木)、「障害のある人の地域生活を考える」をテーマに三木精愛園セミナーを開催しました。第一部では兵庫県健康福祉部障害福祉課主幹 野田政裕氏による「地域生活支援拠点等の整備について」ご講演をいただき、第二部では「三木市における地域生活支援拠点について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。地域一体となった支援体制をどうやって構築できるか、緊急時の受入体制、グループホーム体験の機会など地域のニーズや課題を出しあい、今後の地域生活支援拠点の整備をもとに考えることができるセミナーになりました。



施設だより

SPECTを設置しました

西播磨病院

当院では、新たに設置したSPECTを活用し、五月からRI検査を開始します。RI検査は、X線、CTスキャン、超音波(エコー)、MRIのような画像診断の一つです。体内に投与した微量の放射性医薬品が臓器や体内組織などに集まる様子を画像化し、疾病の診断、治療効果の判定などに有用な情報として提供します。CTスキャンやMRIによる画像は形態的な情報を反映できませんが、RI検査では、血流や代謝などの機能変化を画像情報として反映することができ、疾病による形態上の変化が現れる前の微妙な兆候をより早期にキャッチすることができ、認知症およびパーキンソン病等について、RI検査による精度の高い機能診断を実施することで専門医療の一層の充実を図ります。



「第五十三回花の定期便」を行いました

出石精和園

「花の定期便」事業は社会貢献事業の一環として、今回で五十三回目となりました。出石町内の民生委員の方々のご協力を得て、利用者様と支援員が一緒に育てたパンジーを植えたプランターを独居老人宅百二十一家庭と十六公共機関、合計百三十七ヶ所に配布しました。「いつもありがとう」「毎年きれいに咲いていますよ」「等声をかけていただき、地域との温かいつながりや長く積み重ねられた年月を深く感じたひとときでした。」



お化粧講習会

ことぶき苑

三月三日(金)の「桃の節句」に、ひな祭りにあわせて「お化粧講習会」を開催しました。毎年お世話になっている「お化粧ポラントニア」の方々のご指導のもと、「昔取った杵柄」とばかり、女性利用者様数名が、華麗なる変身を遂げるべくお化粧に取り組みられました。お化粧終了後は、男性利用者様や職員の視線を一身に浴びながら少しからず若返った皆さんでした。



近情短野球大会に参加し、優勝

清水が丘学園

十二月廿七日(土)に近畿情緒障害児短期治療施設交流野球大会がありました。四月から新しいチームで練習を始め、初めての試合でした。緊迫した試合展開でしたが、練習の成果を十分に発揮することができ、見事「優勝」することができました。試合に出ていないメンバーも一生懸命応援し、チーム一丸となり最高の結果を残せました。



第二十回日本病態栄養学会(シンポジウム)「嚥下食部門」入選!

中央病院

一月十三日(金)・十五日(日)、国立京都国際会館で開催されたレシピコンテスト「嚥下食部門」において当院手作りの「ムース食」「牛肉のオイスターソースかけ・白身魚のゆずみそかけ」が全国八施設に入選しました。調理実技・プレゼンテーション審査があり、自慢のメニューと調理手順を紹介できる大変貴重な機会となりました。



待望のトラックが納車されました

小野起生園

十二月二十七日(火)に、「日本財団」様から助成を受けて「三菱ふそうトラック・バス株式会社」様の最新型CANTERが納車されました。

配送担当の利用者様に感想をお聞きすると、「最新型トラックは装備が良いですね」「良く走るし取り扱いもしやすいです」と笑顔で答えられました。また、「みんなが生産した部品が安全に運搬します」と、引き締まった表情で話されました。



日本財団福祉車両贈呈式

三木精愛園

三月十三日(月)、日本財団福祉車両助成事業により寄贈された福祉車両の贈呈式を行いました。

今回寄贈された車両はホンダN-BOX+車椅子対応車で、利用者様の病院受診や買い物、昼食などの外出支援などに活用し、当園の事業目標である利用者様本位で質の高いサービスの提供を目指します。

日本財団様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様にご感謝の意を表します。



都志小学校で福祉交流授業

洲本市五色健康福祉総合センター

三月六日(月)に当センターの職員が地元の小学校へ行き、四年生を対象に福祉授業を行いました。アイマスクや白杖を使つての視覚障害者体験や車いすを使つての体験をしました。授業を通して福祉に対し興味を持つてくれたと思います。小学生から介護する側の難しさ、車いすの操作の難しさを体感したと感想がありました。また三月十五日(水)には小学生が当施設を訪れ利用者様と交流を深めました。



あしがき

今年三月の気温が低く、桜の開花がやや遅くなりました。年度当初忙しい中でしたが、満開の桜を楽しむことができました。施設で利用者の方などは、各施設でお花見を楽しまれたことかと思えます。季節は進み、あつという間に新緑の季節を迎えました。新規職員の皆さんは、少し新しい職場に慣れてきた頃でしょうか? さて、次回の「青い鳥」は七月発行予定です。今年度もいろんな情報を発信していきたいと思えます。K&E

表紙・タイトル写真
「万寿の家 満開の桜の下でお花見」